

# 「お伽の国」 日本とちりめん本

平成10年3月24日～4月24日

「ちりめん」本、ご存知ですか？

「ちりめん」といっても、絹製ではありません。印刷済みの和紙をちりめん仕立て(ちりめん紙)に加工した後、和綴じ製本したものです。手触りの柔らかいちりめん紙に、鮮やかな色刷りを施したちりめん本は、外国人に日本文化を紹介するものとして出版されたようで、明治中頃から昭和の初めにかけて長谷川武次郎が出版した『日本昔噺』シリーズが有名です。

長谷川は、1853(嘉永6)年、江戸に生まれ(没年は不詳)、東京商法講習所(一橋大学の前身)を中退後、書籍出版業、印刷業のほか洋酒商なども営んでいました。『日本昔噺』は、学生時代の英語教師の紹介で知った外国人に訳してもらって出版したことに始まるようです。また、長谷川の『日本昔噺』は、巖谷小波の『日本昔噺』(明治27年刊行開始、全24冊)に影響を与えたとも言われています。

今回の展示では、この『日本昔噺』を中心に、ちりめん本を紹介します。

## 展示資料一覧

<>内は当館請求記号

### 〈ちりめん本『日本昔噺』の誕生〉

明治18年、『日本昔噺』の刊行が始まりました。第1号は、「桃太郎」でした。昭和初期に出版されたドイツ語版と比べると、大きさや挿画に差異が見られます。途中、出版者が弘文社、長谷川商店と変わりますが、いずれも長谷川が出版したものです。

#### 1. Momotaro, little peachling

桃太郎 (日本昔噺 第1号)

<YDM109847><C-26A>

ダビッド タムソン(D. Thamson)訳述 小林永濯画

東京 長谷川武次郎 明治19(1885)年(再版) 16cm.

Thamson(1835～1915)は、米国生まれ。文久2(1862)年、アメリカ長老派教会宣教師として来日。明治4(1871)年、岩倉使節団に通訳として同行。

小林永濯(1843～1890)は、江戸日本橋に生まれ、名は徳宣、別号鮮齋。13歳の時狩野永恵に入門、井伊直弼に召され彦根藩の画師となる。その後は新機軸を出し、浮世絵、新聞挿絵なども手掛ける。代表作「黄石公帳良図」など。

## 2. Momotaro, order Pfirschling

〔桃太郎〕 (〔独逸文日本昔噺〕) 〔小林永濯画〕 <Da-111>  
カール フロレンツ(Karl Florenz)訳  
東京 長谷川武次郎 〔昭和6(1931)年〕 20cm.

Florenz(1865～1935)は、ドイツ生まれ。明治21(1888)年来日。帝国大学でドイツ語及び言語学を教授。大正3(1914)年に帰国。

### 《多色刷りと白黒刷り》

『日本昔噺』には、多色刷りのものと白黒刷りのものがありました。

## 3. Saru-Kani kassen; der Kampf der Krabbe mit dem Affen

猿蟹合戦 <YDM103002><C-30B>  
ドクトル ア. グロート(A. Groth)訳述 小林永濯画  
東京 弘文社 明治18(1885)年 15p. 19cm.

Groth(1854～1934)は、ドイツ生まれ。明治13(1880)年来日。帝国大学でドイツ語とラテン語を教授。明治18年に帰国。

## 4. Saru kani kassen

猿蟹合戦 (日本昔噺) <YDM109884><B-356>  
ダビッド タムソン(David Thompson)訳述 小林永濯画  
東京 弘文社 明治18(1885)年 15p. 19cm.

### 《ちりめん紙と普通紙》

同じ多色刷りでも、ちりめん紙を使用したものと普通紙を使用したものがありました。大きさは、ちりめん仕立てにすると縮むので、ちりめん本のほうが若干小さくなっています。ここで展示した「野干ノ手柄」は、普通紙のほうには細工がありますが、ちりめんの方はありません。

5. La victoire du petit renard

[野干ノ手柄] (仏文日本昔噺 第12号) <YDM109826><C-31K>

ドウトルメル(J. Dautremer)訳 小林永濯画

東京 長谷川武次郎 明治36(1903)年 16cm.

Dautremer(1860~?)は、フランス生まれ。1893(明治26)年、フランス大使館員として来日(同年離日)。帰国後、パリの Oriental Languages School で日本語を教授。

6. Kitsune no tegara

野干ノ手柄 (日本昔噺 第12号) <YDM109847><C-26L>

チエイムス夫人(Mrs. T. H. James)編述 小林永濯画

東京 弘文社 明治19(1886)年 19cm.

《各国語訳》

英語だけでなく、フランス語やドイツ語などにも翻訳されました。いずれも、ちりめん紙と普通紙で出版されたようですが、当館ではそのどちらかしか所蔵していないものが多く、また、言語によっては、シリーズの一部のみしか刊行されませんでした。

7. Momotaro

桃太郎 (伊太利文日本昔噺 第1号) <B-339>

Salvatore Fioravanti Chimènz 訳 [小林永濯画]

東京 長谷川武次郎 明治32(1899)年 16cm.

8. Katsi-katsi yama

勝々山 (仏文日本昔噺 第5号) <YDM109826><C-31D>

ドウトルメル(J. Dautremer)訳 [小林永濯画]

東京 長谷川武次郎 明治30(1897)年 16cm.

9. O velho que faz florescer as arvores mortas

花咲爺 (葡文日本昔噺) <YDM109825><Ca-24>

[小林永濯画]

東京 長谷川武次郎 明治45(1912)年 15cm.

10. Удивительный чайный котелокъ

文福茶釜 ([露文] 日本昔噺 第16号) <YDM109843><C-32a>

鈴木於兔平訳 [新井芳宗画]

東京 長谷川武次郎 明治31(1898)年 24p. 16cm.

鈴木於兔平(1861～?)は、江戸駿河台生まれ。明治 16(1882)年に私費でロシアに渡航。帰国後、日本貿易商會に勤務。

新井芳宗(1863～?)は江戸に生まれ、名は周次郎。一松齋芳宗の子。浮世絵を父および月岡芳年に学び、父の号芳宗を継ぐ。

#### 11. Shitakiri suzume

舌切雀 ( [蘭文日本昔噺] ) <YDM103011><特67-743>

ファンスケルンベーク(P. G. van Schermbeek)訳述 小林永濯画

東京 弘文社 明治19(1886)年 19cm.

van Schermbeek(1848～1901)は、オランダ工兵大尉。明治 16(1883)年、陸軍省臨時建設署の御雇いとして来日。砲台の建設に携わる。明治 19(1886)年、帰国。

#### 12. Der Fischersohn Urashima

浦島 (独逸文日本昔噺 第8号) <Da-113>

ヘツドウイク シプロク(Hedwig Schipplock)訳述 [小林永濯画]

東京 長谷川武次郎 昭和6(1931)年 16cm.

#### << 多彩な翻訳者たち >>

翻訳者の中には、日本で活躍した外国人も含まれています。また、挿画の作者にも、鈴木華邨ら著名な画家の名前を見ることができます。

#### 13. Kobutori, the old man and the devils

癩取 (日本昔噺 第7号) <YDM109847><C-26G>

ドクトル ヘボン(Dr. Hepburn)訳

東京 弘文社 明治19(1886)年 18cm.

Hepburn(1815～1911)は、米国生まれ。ローマ字表記のヘボン式で有名。安政 6(1859)年、アメリカ長老派の宣教師として来日。明治 22(1889)年に明治学院初代総理となる。明治 25(1892)年帰国。

#### 14. The boy who drew cats

[猫を描いた少年] (日本昔噺 第23号) <YDM109847><C-26X>

ラフカチヲ ヘルン(Lafcadio Hearn)著 鈴木華邨画

東京 長谷川武次郎 明治31(1898)年 20cm.

Hearn(1850～1904)は、ギリシア生まれ。日本名、小泉八雲。明治 23(1890)年来日。松江中学校の

英語の教師などを経て、帝国大学の英文科教師となる。明治 29(1896)年に帰化。日本の古い話を書き替えた『怪談』や『骨董』などが有名。

鈴木華邨(1860～1919)は、江戸下谷に生まれ、名は惣太郎。14歳の時中島享齋に入門、明治 31年には日本画会設立に参加。花鳥山水に秀で、明治 43 年日英博覧会で「雨中渡舟の図」が金牌を受賞。外国人によく知られた日本画家の一人。

## 15. Princess Splendor, the wood-cutter's daughter

竹取物語 (日本昔噺 号外) <YDM103084><特49-277>  
ミロル(E. Rothesay Miller)著 小林永濯画  
東京 弘文社 明治22(1889)年 90p. 18cm.

Miller(1834～1915)は、米国生まれ。明治 5(1872)年、アメリカ長老派教会宣教師として来日。日本一致教会の創立に尽力。

## 16. The hunter in fairy land

(Aino fairy tales, no.1) <YDM109824><特67-738>  
チャムブレン(Basil Hall Chamberlain)訳述  
東京 弘文社 明治20(1887)年 20cm.

Chamberlain(1850～1935)は、英国生まれ。明治 6(1873)年来日。海軍兵学校の教師を経て、明治 19(1886)年東京帝国大学文科大学教師となる。アイヌ語の研究にも従事。明治 23(1890)年に病気のため帰国。

### 《『日本昔噺』シリーズ》

英語版『日本昔噺』(Japanese Fairy Tale)は、明治 18 年の第 1 号刊行以降、第 25 号まで、計 26 点が刊行されました(第 16 号に「文福茶釜」と「鉢かづき」の 2 種類あるため)。このほか、第 2 期として第 1 号から第 3 号、号外 1 冊、号数の確認できないもの 1 冊、そして姉妹編ともいふべき Aino Fairy Tales [アイヌ昔噺] 第 1 号から第 3 号が刊行されています。

ここでは、ちりめん本で当館が所蔵する『日本昔噺』シリーズを、刊行点数の多い英語版、フランス語版、ドイツ語版で紹介します。

## 17. Le serpent à huit têtes

[八頭ノ大蛇] (仏文日本昔噺 第9号) <YDM109826><C-31H>  
ドウトルメル(J. Dautremer)訳 小林永濯画  
東京 長谷川武次郎 明治30(1897)年 16cm.

18. Le lièvre d' Inaba  
[因幡ノ白兔] (仏文日本昔噺 第11号) <YDM109826><C-31J>  
ドウトルメル(J. Dautremer)訳 小林永濯画  
東京 長谷川武次郎 明治36(1903)年 16cm.
19. Die einfältige Qualle  
[海月] (独逸文日本昔噺) <Da-112>  
ヘツドウイツク シプロク(Hedwig Schipplock)訳 川端玉章画  
東京 長谷川武次郎 昭和6(1931)年 16cm.  
川端玉章(1842~1913)は、京都に生まれ、名は滝之助、別号敬亭、璋翁。蒔絵師川端佐兵衛の子。  
11歳の時中島来章に入門、明治23年東京美術学校の教授となる。東都画壇の重鎮として知られ、  
「浜離宮の図」「墨堤桜花図」などが代表作。
20. Le prince Feu-brilliant et le prince, Feu-luisant  
[海幸山幸] (仏文日本昔噺 第14号) <YDM109826><C-31M>  
ドウトルメル(J. Dautremer)訳 [小林永濯画]  
東京 長谷川武次郎 明治36(1903)年 16cm.
21. Monseigneur Sac de Riz  
[俵藤太] (仏文日本昔噺 第15号) <YDM109826><C-31N>  
ドウトルメル(J. Dautremer)訳 鈴木華邨画  
東京 長谷川武次郎 明治36(1903)年 16cm.
22. Le bol de bois  
[鉢かづき] (仏文日本昔噺) <Da-288>  
ドウトルメル(J. Dautremer)訳 鈴木華邨画  
東京 長谷川商店 昭和10(1935)年 19p. 16cm.
23. Sippeïtaro  
[竹籠太郎] (仏文日本昔噺 第17号) <YDM109826><C-31P>  
ドウトルメル(J. Dautremer)訳 [鈴木宗三郎画]  
東京 長谷川武次郎 明治36(1903)年 16cm.
24. The ogre's arm  
[羅生門] (日本昔噺 第18号) <YDM109847><C-26S>  
ジェイムス夫人(Mrs. T. H. James)著 小林永濯画

- 東京 長谷川武次郎 明治22(1889)年 16cm.
25. The ogres of Oye-yama  
大江山 (日本昔噺 第19号) <YDM109847><C-26T>  
ジェイムス夫人(Mrs. T. H. James)編  
東京 弘文社 明治24(1891)年 16cm.
26. La cascade enchantée  
[養老の滝] (仏文日本昔噺 第20号) <YDM109826><C-31S>  
[ドウトルメル(J. Dautremer)訳]  
東京 長谷川武次郎 明治36(1903)年 16cm.
27. The flowers of remembrance and forgetfulness  
(日本昔噺 第22号) <YDM109847><C-26W>  
ジェイムス(Mrs. T. H. James)著  
東京 長谷川商店 明治29(1896)年 17cm.
28. The goblin spider  
[化け蜘蛛] (日本昔噺 第2期第1号) <YDM109849><C-27A>  
ラフカチヲ ヘルン(L. Hearn)著  
東京 長谷川武次郎 明治32(1899)年 16cm.
29. Der wunderbare Hammer  
[犬頭糸] (独逸文日本昔噺) <Da-117>  
レオポルデイネ クナウエル(Leopoldine Knauer)訳述  
東京 長谷川武次郎 昭和6(1931)年 16cm.
30. Die zerbrochennen Bildsäulen  
(独逸文日本昔噺) <Da-118>  
レオポルデイネ クナウエル(Leopoldine Knauer)訳  
東京 長谷川武次郎 昭和6(1931)年 16cm.
31. The fountain of youth  
[若返りの泉] (日本昔噺) <398.4-J35>  
ラフカチヲ ヘルン(L. Hearn)訳  
東京 長谷川武次郎 大正11(1922)年 18p. 19cm.

《さまざまなちりめん本》

長谷川は、『日本昔噺』以外にもちりめん本を出版しました。また、長谷川以外の出版者によるちりめん本もありました。長谷川と同様、鮮やかな色彩のものが多く、観光案内なども出版されました。また、大阪でも日本昔話のちりめん本が刊行されたようですが、当館での所蔵は確認できません(32 から 38 までは長谷川が出版したもの、39 から 43 までは長谷川以外の出版者のもの)。

32. Dichtergüsse Aus Dem Osten, Japanische Dichtungen

和歌集 <YDM109830><B-186>  
カール フロレンツ(K. Florenz)纂訳  
東京 長谷川商店 明治27(1894)年 97p. 20cm.

33. Monthly Changes of Japanese Street-Scenes (Calendar for 1906)

長谷川武次郎著 新井芳宗画 <YDM107131><F-57>  
東京 長谷川武次郎 明治38(1905)年 20cm.

34. Japanese Pictures of Japanese Life

長谷川武次郎著 新井芳宗画 <F-25>  
東京 長谷川武次郎 明治28(1895)年 20cm.

35. The Smiling Book

長谷川武次郎著 鈴木宗太郎画 <YDM107132><B-248>  
東京 長谷川武次郎 明治29(1896)年 17cm.×22cm.

36. The Fairy Foxes, A Chinese Legend, 3rd Edition

リットル夫人(Archibald Little)著 <YDM109722><127-203 (洋)>  
東京 長谷川武次郎 明治27(1894)年 43p. 18cm.

Little(1845~1926)は、英国生まれ、中国では立德夫人。夫は四川貿易会社を経営。1902年、天足会を組織し反纏足活動を行う。1907年に帰国。

37. La Japon Des Enfants

レオ・マレスコ(Leo Marescaux)著 <Da-302>  
東京 長谷川商店 昭和11(1936)年 20cm.

38. Au Japon, Les Raconteurs Publics  
ジュルス アダム(Jules Adam)著 <YDM108400><C-23>  
東京 長谷川武次郎 明治32(1899)年 18cm.
39. Musical Japan  
秋山愛三郎著 <YDM108403><B-240>  
東京 秋山愛三郎 明治28(1895)年 18cm.×24cm.
40. The Japanese Months, vol. 1  
岡田松生著 <YDM107324><B-188>  
東京 国文社 明治27(1894)年 19cm.
41. Forty Seven Ronin  
宮崎吉五郎編 雪谷画 <YDM107268><B-124>  
横浜 田中梅三郎 明治26(1893)年 16cm.
42. A Story of Hikohohodemi-no-mikoto  
馬場武義著 <YDM109822><B-256>  
神戸 明輝社 明治29(1896)年 18cm.  
ちりめん本としては珍しく、活字のみの白黒印刷。
- 馬場武義(生没年不詳)は、佐賀生まれ。長崎広運館出身。明治 6(1873)年、イギリスに私費留学。  
帰国後、「馬場学校」を開業。
43. Scence from the Japan-China War  
井上十吉著 山本永暉画 <YDM107157><B-220>  
東京 稲葉庄兵衛 明治28(1895)年 20cm.

井上十吉(1862～1929)は、旧徳島藩士。明治 6(1873)年、イギリスに留学。明治 17(1884)年に帰国。  
帝国大学予備門の英語教師などを経て、ジャパングゼット社に入社。日清戦争に対する同社の反日  
的論調に憤慨して退社。明治 27(1894)年、外務省入省。大正 7(1918)年退官。英和・和英辞典を数  
多く編集。

ちりめん本に興味のある方は……………

**福田清人**「日本昔噺の最初の英訳本叢書 ちりめん本について」 『日本古書通信』通巻第 511 号  
昭和 47(1972)年 2 月 <Z21-160 図書館学資料室所管>

**福田清人**「ちりめん本について詳記」 『日本古書通信』通巻第 514 号 昭和 47(1972)年 5 月  
<Z21-160 図書館学資料室所管>

**瀬田貞二**『落ち穂ひろい』下巻 東京 福音館書店 昭和 57(1982)年 <KG411-71>

**アン・ヘリング**「縮緬本雑考」(上)(中)(下) 『日本古書通信』通巻第 634 号～636 号 昭和 57(1982)  
年 5 月～7 月 <Z21-160 図書館学資料室所管>

**アン・ヘリング**「続・縮緬本雑考」(1)～(16) 『日本古書通信』通巻第 638 号、640 号～641 号、  
643 号～646 号、648 号～652 号、657 号、659 号～670 号、677 号 昭和 57(1982)年 9 月・11 月  
～12 月、昭和 58(1983)年 2 月～5 月・7 月～11 月、昭和 59(1984)年 4 月・6 月、昭和 60 年 5 月・  
12 月 <Z21-160 図書館学資料室所管>

**中野幸一**「上方チリメン本の日本昔噺」 『日本古書通信』通巻第 802 号 平成 8(1996)年 5 月  
<Z21-160 図書館学資料室所管>

◎請求記号が **YDM** ではじまる資料は、マイクロ資料でのご利用になりますので、展示期間  
中でもご利用になれます。

国立国会図書館 03-3581-2331(代)

ホームページアドレス <http://www.ndl.go.jp>

■国立国会図書館 ■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□■03(3581)2331 ■